

# 上部消化管内視鏡を受ける方へ

## 【検査目的】

- 食道・胃・十二指腸にできる病気（潰瘍・ポリープ・がん・静脈瘤など）をみつけ、適切な治療方針を検討するために行います。
- より詳しく観察するために、粘膜に色をつけて観察することがあります。また、確実に診断するために、小さな組織片を切り取り（生検）顕微鏡で調べることもあります。

## 【方法】

- 内視鏡は、口から入れる方法と鼻から入れる方法があります。

内視鏡の種類	口（経口）	鼻（経鼻）
太さ	9mm程度	6mm程度
メリット	画質が鮮明なため、詳しく観察ができます	管が少し細いので、画質が若干劣ります
デメリット	えづきが強く起る場合があります	鼻腔が狭い人は入りません 鼻出血・痛みをきたすことがあります
鎮静剤について	希望される方は、静脈注射の鎮痛剤を使うことができます	原則使いません

- 鎮静剤を使用した場合は、眠気やふらつきが続くことがあります。  
検査当日は、車・バイク・自転車などご自身での運転はお控えください。
- ご高齢の方はできるだけ、ご家族の付添いをお願いします。

## 【検査前日と当日の注意点】

注意点	検査前日	検査当日
食事について	<u>午後9時までに</u> 普段通りの食事を済ませてください	朝から検査が終わるまで、食事はできません
水分について	水・お茶・スポーツ飲料は飲めます 酒・タバコは控えてください	水・お茶は検査の1時間前までは飲めます そのあと検査までの間は、のどを潤す程度に飲めます
薬について	普段通り服用してください	<u>午前6時までに</u> 心臓・血圧・精神を落ち着かせる薬・血液をサラサラにする薬を服用している方は、普段通り服用できます その他の薬は医師の指示に従ってください
服装について		体をしめつけない服装で来院してください ネックレスやイヤリングは外してください

【検査ならびに検査後の流れ】

- 入れ歯（ブリッジ含む）がある方、また歯がぐらついている方は、あらかじめ申し出てください。
- 胃の中の泡を消す水薬をのんでもらいます。
- 胃腸の動きをおさえる注射をします。
- 口からの内視鏡は喉のスプレー麻酔を、鼻からの内視鏡は鼻腔にゼリーの麻酔をします。
- 鎮静剤を希望している方は、鎮静剤を静脈注射します。
- 内視鏡で検査を始めます。検査時間の目安は 10～15 分です。
- 鎮静剤を使用した場合は、検査終了後 1 時間はリカバリールームで休んで頂きます。
- 検査後 1 時間は飲食ができません。
- 内視鏡検査の結果については当日に、生検結果については、約 2 週間後に説明いたします。

【検査に伴う偶発症および発生時の対応方法】

- 日本内視鏡学会の全国調査によると、2008 年から 2012 年の 5 年間の胃内視鏡の偶発症頻度は 0.0069%（口：0.005%・鼻：0.024%）と報告されています。
- 検査時に使用する薬剤に対するアレルギー反応、鎮静剤により呼吸抑制や血圧低下、またまれに出血や穿孔（食道・胃・十二指腸に穴が開く）などをきたすことがあります。そのため入院や緊急処置、手術が必要になることがあります。
- 抗血栓剤薬（抗血小板薬・抗凝固薬）を飲んでいる方は、検査に際して出血のリスクが高くなります。
- 鼻からの内視鏡検査で、鼻出血をきたすことがあります。しかし、鼻に詰め物をしていただくと、止まることがほとんどです。

当院では、偶発症が起こらないように十分気をつけております。

検査中に偶発症の発症が起こることが予測できる場合は、検査を中止することがあります。

【検査当日ご持参いただくもの】

<input type="checkbox"/> 健康保険証	<input type="checkbox"/> 検査予約表	<input type="checkbox"/> 検査同意書	<input type="checkbox"/> バスタオル 1～2 枚
--------------------------------	--------------------------------	--------------------------------	--------------------------------------

承諾して頂いた方は、別紙の「検査同意書」にご署名のうえ、検査当日にご提出ください。

その他、ご質問があればおたずねください。

なお、予定日に検査が受けられなくなった場合は、ご連絡ください。

医療法人心月会      つきやま胃腸内科      072-368-9007

# 下部消化管内視鏡検査を受ける方へ

## 【検査目的】

- ・肛門から直径 10mm程度の内視鏡を入れ、直腸・S状結腸・下行結腸・横行結腸・上行結腸・盲腸まで挿入します。
- ・炎症・潰瘍・ポリープ・がんなどをみつけ、適切な治療方針を検討するために行います。より詳しく観察するために、粘膜に色をつけて観察することがあります。また、確実に診断するために、小さな組織片を切り取り（生検）顕微鏡で調べることもあります。

## 【方法・検査前日と当日の注意点】

- ・腸の中をきれいにするために、自宅で下剤を服用していただきます。下剤の服用方法には、検査前日と当日の2日に分けて服用する方法と、検査当日の1日で服用する方法があります。なお、下剤の飲み方は、別紙をお読みください。

注意点	検査前日	検査当日
食事について	昼食・夕食（夕食は基本的に <u>午後7時までに食べ終わる</u> ）は、消化しやすいものを食べてください 食物繊維の多い物・種が多いものは控えてください（海藻類・きのこ類・ねぎ・ごぼう・とうもろこし・こんにゃく・ゴマ・ナッツ類・いちご・柿イフルーツなどは✕） 検査食も購入できます	朝から、検査が終わるまで食事はできません
便秘の方	検査の2～3日前から、便通を整えてください 薬が必要な方は、医師に相談してください	
水分について	こまめに飲んでください 酒・タバコは控えてください	水・お茶は、検査が始まるまでは <u>十分に飲んでください</u> （別紙の下剤の飲み方を参照）
薬について	普段通り服用してください	<u>午前6時まで</u> に、 心臓・血圧・精神を落ち着かせる薬・血液をサラサラにする薬を服用している方は、普段通り服用してください その他の薬は、医師の指示に従ってください
服装について		検査着に着替えます 脱ぎ着しやすい服装で来院してください

- ・検査に対して不安な方は、鎮静剤（静脈注射）を使用して検査を受けることもできます。眠気やふらつきが続くことがあります。検査当日は、車・バイク・自転車などご自身での運転はお控えください。
- ・ご高齢の方はできるだけ、ご家族の付添いをお願いします。

【下剤服用時の注意事項】

- 下剤を飲んでいる途中で、お腹が痛い、気分が悪い、吐き気がするなどの症状があれば、服用を中止して、すぐにご連絡ください。072-368-9007
- 下剤を全量飲んで、便が透明な色にならない時は、12時までにご連絡ください。

【検査の流れ】

- 検査着に着がえます。
- 腸の動きをおさえる注射をします。検査時間の目安は30分です。
- 鎮静剤を希望している方は点滴をします。その場合、検査終了後1時間はリカバリールームで休んで頂きます。
- 内視鏡検査の結果については当日に、生検結果については、約2週間後に説明いたします。

【検査に伴う偶発症および発生時の対応方法】

- 日本内視鏡学会の全国調査によると、2008年から2012年の5年間の偶発症の発生頻度は0.011%、死亡率0.0004%です。
- 検査時に使用する薬剤に対するアレルギー反応、鎮静剤により呼吸抑制や血圧低下、またまれに腸管の出血や穿孔（穴に開く）などをきたすことがあります。そのため入院や緊急処置、手術が必要になることがあります。
- 抗血栓剤薬（抗血小板薬・抗凝固薬）を飲んでいる方は、検査に際して出血のリスクが高くなります。

当院では、偶発症が起こらないように十分気をつけております。

検査中に偶発症の発症が起こることが予測できる場合は、検査を中止することがあります。

【検査当日ご持参いただくもの】

<input type="checkbox"/> 健康保険証	<input type="checkbox"/> 検査予約表	<input type="checkbox"/> 検査同意書	<input type="checkbox"/> バスタオル1~2枚
--------------------------------	--------------------------------	--------------------------------	------------------------------------

承諾して頂いた方は、別紙の「検査同意書」にご署名のうえ、検査当日にご提出ください。

その他、ご質問があればおたずねください。

なお、予定日に検査が受けられなくなった場合は、ご連絡ください。

また検査を中止する場合は、支払が済んでいないため、下剤の返却をお願いします。